








# 異常が起きた？

※詳しくは取扱説明書をご確認ください。

※取扱説明書の「困ったとき」の項目を見て処置を行っても解決しない場合や、該当項目のない場合は、運転を止めてしおり表紙の「連絡先(取扱業者)」に連絡してください。

## 装置が止まったときは、酸素ボンベ(別売)に切り替えてください

表示パネル	音声ガイド	ここをご確認ください
 カニューラ E.01	酸素の流量が少なくなっています	<input type="checkbox"/> 鼻カニューラや延長チューブが折れていないか <input type="checkbox"/> チューブ内に水がたまっていないか <input type="checkbox"/> 加湿器内が目詰まりしていないか
 酸素 E.02	酸素の濃度が低くなっています	<input type="checkbox"/> 空気取入口フィルターが目詰まりしていないか <input type="checkbox"/> 底面の排気口をふさいでいないか <input type="checkbox"/> 空気取入口をふさいでいないか
 加湿器 E.03	加湿器の取り付けを確認してください	<input type="checkbox"/> 加湿器が正しく取り付けられているか <input type="checkbox"/> 加湿器が奥までしっかり押し込まれているか <input type="checkbox"/> 加湿器のボトルとキャップがしっかり締まっているか
E.04	なし	
 コンセント E.05	コンセントとブレーカーを確認してください	<input type="checkbox"/> 停電していないか <input type="checkbox"/> 装置本体や建物のブレーカーが落ちていないか <input type="checkbox"/> 電源プラグが抜けていないか
 連絡 E.06	取扱業者に連絡してください	
 連絡 E.07	取扱業者に連絡してください	
 連絡 E.08	取扱業者に連絡してください	

しおり表紙の連絡先(取扱業者)にご連絡ください

機械器具6 管理医療機器 特定保守管理医療機器 酸素濃縮装置(コード:12873002)  
 医療機器認証番号:224AGBZX00111Z02

在宅医療用酸素濃縮装置

Dr. 酸素5L-II



# ご使用のしおり

このしおりは、取扱説明書の中から特に必要と思われる事項をまとめたものです。ご使用前には必ず 取扱説明書 をお読みください。

■ 医師の処方および指示に従い、正しく使用してください。

## ⚠ 安全のため、必ずお守りください



ご使用になられる方、周りの人ともに **タバコは絶対に吸わない**

在宅酸素療法中にタバコを吸って火災になる事例が多く報告されています。



**周囲2m以内** に火気を置かない  
 酸素自体が爆発したり、燃えたりはしませんが、燃えているものをさらに燃えやすくする性質があります。



2m以上 ↑ 離れて使用



「酸素が出ない…」  
 と思ったときは

酸素ボンベ(別売)に切り替えて、  
 下記をチェックしてください

### 鼻カニューラ(チューブ)

- 外れていませんか?
- 折れたり曲がったりしていませんか?
- 水がたまっていないですか?

### 加湿器

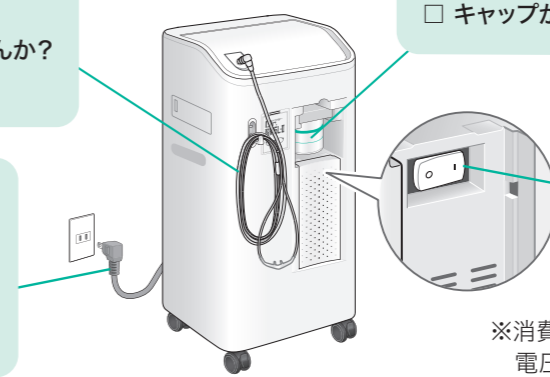
- キャップがしっかり締まっていますか?

### 電源プラグ・電源コード

- 延長コードやタコ足配線をしていませんか?
- コンセントにしっかり差し込んでいますか?

### ブレーカー

- OFFになっていませんか?  
 (O:OFF、I:ON)



※消費電力の大きい家電製品と併用すると、電圧が下がり正常に動作しないことがあります。

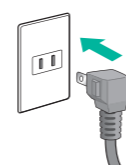
### 連絡先(取扱業者)

# 使いかた

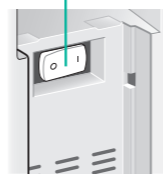
※詳しくは取扱説明書をご確認ください。

## 1 電源プラグをコンセントに差し込む

※ ブレーカーがONになっていることを確認してください。



ブレーカー  
(O:OFF, I:ON)



## 2 運転を始める

### 本体で操作する場合



「運転/停止」ボタンを押す

### リモコンで操作する場合



① 「リモコン電源」ボタンを押す

② 「運転/停止」ボタンを押す

## 3 鼻カニューラから酸素が出ていることを確認する

※ 鼻カニューラに耳および手を近づけて、酸素が流れていることを確認してください。

※ 鼻カニューラを水の入ったコップ等に入れ、泡が出ることを確認してください。



## 4 酸素流量を調節し、吸入する

※ 医師の処方に従って、14段階から流量を選んでください。(0.25~5.0L/分)

※ 酸素ランプおよび加湿器ランプの点滅が消えてから吸入を開始してください。  
(運転を始めてから酸素濃度が安定するまで、5~10分ほどかかることがあります。)

### 本体で操作する場合



### リモコンで操作する場合

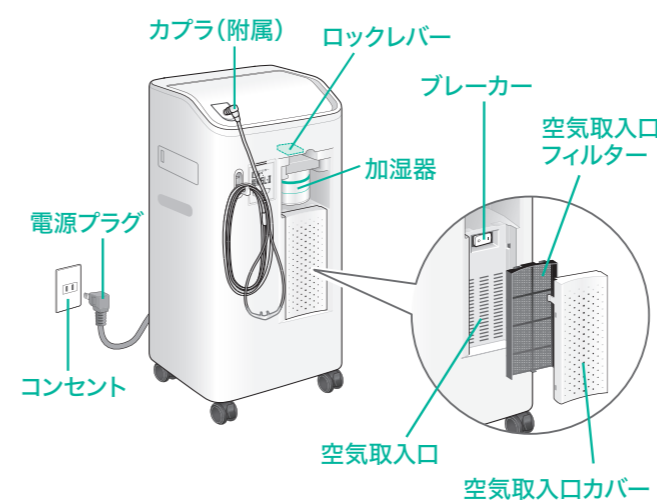


※電子レンジや無線LANルーターなどの電磁波を出す電子機器等、電波干渉によりリモコンが使用できない場合は、本体での操作を行ってください。

## 5 (時間がきたら)「運転/停止」ボタンを押して運転を止める

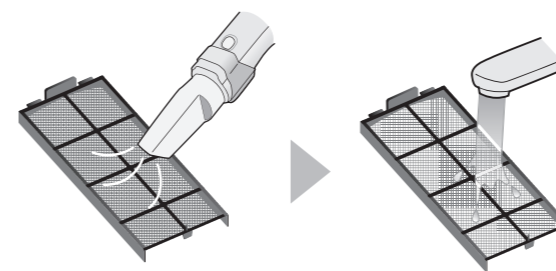
# 日常のお手入れ

※詳しくは取扱説明書をご確認ください。



## 空気取入口フィルター 週1回

### ホコリを掃除機で吸い取り、水洗いする

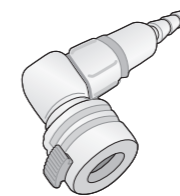


## カプラ(付属) 毎日

### 外観に異常(破損・変形等)がないかを確認する

※ 消毒液や水などの液体に浸して洗浄しないでください。

※ 呼気によって汚染される可能性があります。



## 電源プラグ・ブレーカー 定期的に

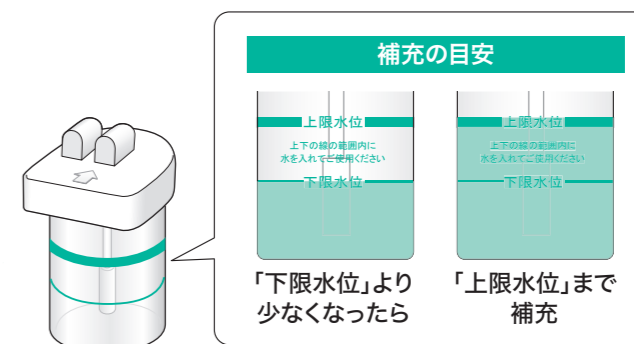
### ゴミやホコリを取り除く



## 加湿器 毎日

### 水洗いし、精製水を交換する

※ 必ず精製水を使用し、加湿器の「上限水位」まで入れてください。  
※ 精製水が「下限水位」より少なくなったら補充してください。

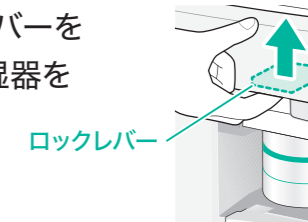


### 加湿器の取扱方法

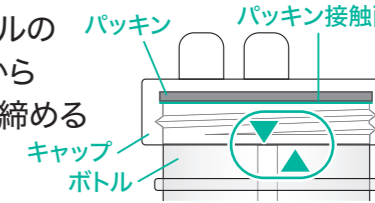
※ 説明動画は右のQRコードよりご視聴ください



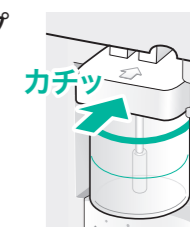
□ 取り外しはロックレバーを押し上げながら加湿器を引き出す



□ パッキンとボトルのフチが接してから約2cm回して締める



□ 装置本体に加湿器のキャップ部分をセットし、「カチツ」と音がするまで押し込む



□ 押し込んだ後、加湿器を軽く引いて、確実にロックされたことを確認する

